

令和4年第420回信濃町議会定例会12月会議再開あいさつ

令和4年12月8日

信濃町長 鈴木 文雄

議会議事堂にて

おはようございます。

第420回信濃町議会定例会12月会議の再開、並びに本定例会に提案申し上げます各案件の審議に先立ちまして、佐藤議長よりお許しをいただきましたので、会議の冒頭、町長就任のごあいさつ並びに町政運営に取り組む際の基本的な考えを申し上げ、議員の皆さま、町民の皆さまのご理解とご協力を切にお願いするものであります。

今、信濃町を取り巻く状況を顧みますと、人口減少や少子高齢化の進行だけでなく、観光をはじめとする地域産業がコロナ禍の影響を受けて苦しんでいることなど、多くの方々の方が不安を抱えながら日々を過ごしている状況が浮かび上がってきます。

これらの課題を解決に導くことは容易ではありませんが、行政に携わる私たちには、町民の願いに耳を傾け、あるいは苦悩に寄り添って、希望の持てる将来への道筋を何とか見出していく、そのような役割を果たしていく責任があると強く感じています。

また、明るい未来を切り拓いていくためには、町政に関わるすべての皆さんが将来を見据え、自分の周辺で起こっていることにも目配りをし、それぞれの持ち味をひとつの方向に結集することにより、状況は好転していくものと確信しております。

そして、私たちが一丸となって取り組んでいる姿が町民の皆さんに伝わることを通じて、行政運営に対する関心が高まると同時に、安心感や信頼感が広がっていくと考えておりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

さて、今回の町長選挙でございますが、結果として無投票という形になりました。このため、町民の皆さんに私の考えをお伝えする機会も少なく、今後の町政運営がどのような方向に向かっていくのか、ご懸念を抱いておられる方も少なくないと感じておりますので、私の所信をお伝えし、皆様のご理解を得てまいりたいと考えております。

施策の基本方針といたしましては、「住んで良かった信濃町を次の世代へ」という目標を掲げました。すべての町民がこの信濃町に住んでいることに誇りを持ち、穏やかな充実感に満たされている、そんな思いを実感できる町づくりを進め、次の世代へ引き継いでいくといった形を想定しています。

今からおよそ4万8千年前、ナウマンゾウが闊歩していた旧石器時代に端を発するとされる信濃町は、先人たちのたゆまない努力のもと、美しい景観や豊かな水資源などを分かち合う文化が脈々と受け継がれる中で、今日の姿が形作られてきましたが、この歴史を共有しつつ現在を生きる私たちには、先達が残した有形無形の遺産をしっかりと受け入れ、それに磨きをかけて次の世代に引き継いでいく責任があると強く感じています。

また、こうした認識を土台に据えて、現時点で取り組むべき課題を明らかにし、その内容を町民に丁寧に説明した上で着実に対策を講じていく、そのような行政のあり方が望ましいと考えます。

具体的には、以下に述べる四点を当面の目標として掲げたいと思います。

第一に、「コロナ禍からの再生」を挙げたいと思います。新型コロナウイルスの感染拡大により大きなダメージを受けた地域産業及び家庭生活の再生を図るため、国・県の支援策に町独自の上乗せを検討してまいります。また、町全体がテレワークやワーケーションなど新たな働き方の受け皿として機能するよう、町及び関係団体の総力を結集して取り組んでまいります。

二つ目には、「子育て支援と高齢者福祉の充実」を取り上げたいと思います。保育園料や学校の給食費、18歳までの医療費や通学定期券への補助など、子育て世代への支援策を強化するとともに地域の人材を活用した学びの環境づくりを目指します。また、地縁や血縁、趣味などによって結びついた寄合い活動への助成金を創設し、高齢者の皆さんに暖かく楽しい日々を過ごしてもらえるような環境を整備します。

三つ目には、「地域固有の持ち味を生かす施策の充実」を掲げたいと思います。妙高戸隠連山国立公園に代表される美しい景観やこの地で育まれた貴重な歴史、文化を町民はもとより、訪れた方々により深く味わっていただくため、周遊ルートの開発や統一感のある案内サインの設置、ビューポイントの整備を進めます。また、個々の観光拠点を線や面で結びつけることにより、妙高や戸隠、飯山方面も含めた地域全体の魅力を引き上げていくような取り組みにも挑戦したいと思います。

四つ目ですが、「医療提供体制の強化」を目指したいと思います。信越病院は、この地域における医療の拠点であり、町民が将来にわたって安心して暮らしていくためには、病院の存続と機能の強化が不可欠です。新病院が町民から信頼される施設となるよう全力を尽くします。なお、病院建設にあたりましては、各種資材の高騰や不足といった事態が懸念されておりますので、事業にどのような影響があるのか、状況を十分に注視し

ながら対応してまいりたいと考えております。

ただいま申し述べた四点のほかにも、重要な課題が山積していると認識しておりますが、今後、議員各位はもとより関係団体の皆さんの協力を得ながら、関連するデータやこれまでの経緯、費用対効果などを確認した上で、狙いどおりの結果が得られるように事業を組み立ててまいります。その一方で、町の財政が大変厳しい状況にあることも承知しておりますので、事業の必要性や緊急度を総合的に判断し、メリハリの利いた予算措置を講じていきたいと考えておりますので、ご理解のほどをお願いいたします。

以上、現時点で私が考えていることの一部を申し上げました。まだまだ十分とは言えない内容ではありますが、議員各位はもとより、町民の皆様、関係団体の皆様との対話を通じて確固たるものに仕上げていきたいと思っておりますので、引き続きご指導くださいませようよろしくお願いいたします。

結びに、今後、町長としての任務の遂行にあたりましては、ご参集の皆様方のお力添えをいただいた上で、すべての町民と真摯に向き合い、誠意をもって対処してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、最近の町政についてご報告いたします。

先月 19 日、3 年ぶりに一茶忌が開催されました。コロナ禍による密を避けるために規模等を縮小するなか、新そば会にも多くの方が訪れ、久しぶりに賑わいをみせたところです。

このように各種行事も徐々に再開されつつありますが、一方で新型コロナウイルス感染症の第 8 波により、県内の感染者数も減少傾向にあるものの病床使用率は、高い水準で推移しております。発症と重症化を予防するため新型コロナワクチン接種を呼びかけていますが、町内のオミクロン株対応ワクチンの接種率（中学生以上）は、38%（11 月末）となっております。今後、インフルエンザとの同時流行も懸念されるため住民の皆様には、マスク・手洗いといった感染対策の徹底とワクチンの接種をお願いするものです。

さて、山の頂も白くなり冬の気配がいよいよ濃くなってまいりました。今月 17 日以降には、スキー場のオープンが予定されており、年末年始にかけて多くの利用客が訪れるよう降雪を期待しているところですが、昨年は大雪に見舞われ、除雪が間に合わないなど住民生活に悪影響を及ぼしました。今シーズンも大雪による除雪体制の遅れなどが予想されますが、町道除雪につきましては、住民の皆様の生活に支障がでないよう、除

雪作業に従事される方と町民の皆様の安全を第一として作業ができるよう留意して参りますので、町民の皆さまには、早朝からの除雪作業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

続きまして、令和5年度の新年度予算関係でございますが、国においては、新年度予算の基本的方針として、「経済財政運営と改革の基本方針2022」に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進するとし、施策の優先順位を洗い出し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化するとしております。既に各省庁からの概算要求は出そろい、要求総額は今年度に次ぐ過去2番目の110兆円を超える見通しとなっております。

町における新年度の予算編成でございますが、歳入面につきましては、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税総額は増額が見込まれますが、自主財源の根幹である町税収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により予測しにくい状況であり、前年対比で減収も想定されます。一方、歳出面では、企業会計・特別会計への繰出金、広域行政に関わる負担金、公債費の増加に加え、昨今の経済情勢による原油価格等の影響、高齢化の進展による社会保障関係の経費などが増加することで、今後も経常的経費の増加が見込まれることから、財政状況はさらに厳しいものと想定されます。そのため、歳入規模に見合った財政規模への転換を図り、持続可能な財政構造を堅持するためにも前例踏襲によることなく既存事業を見直し、創意工夫するなかで必要な新規事業についても導入していくよう編成方針を示したところです。

最後に、本会議に提案申し上げます議案でございますが、条例関係14件、令和4年度補正予算につきましては一般会計をはじめ6件、その他案件1件で合わせて21件を予定しております。ご審議を賜り、ご決定くださいますようお願い申しあげ、再開のあいさついたします。